

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

金屬板より管又は其類似物を製造する方法に関する改良 (10年特許公告第4159號、公告10-10-2、濠洲、ヒューム、ステールリミテッド) 殆ど眞直なる管を簡単に平板より製造する目的を以て、平板を一端の兩側縁部より漸次彎曲せしめ此作用を板の一端より他端に漸進的に及ぼし然も其彎曲の半徑は常に均齊にして形成せらるべき管の半徑に等しからしめ又前記加工中の彎曲の程度は板の後端より前端に至るに従ひ漸次増大する如くし板の中央部は板が殆ど所要の管狀に彎曲せらるゝまで略平坦なる状態に残留する如くなすことを特徴とする平金屬板より管若くは類似の中空體を製造する方法。

鋼熱處理用鹽浴の再生方法 (10年特許公告第4185號、公告10-10-4、仙臺市、金屬材料研究所長) 鹽浴は冷却する事なく經濟的且簡易なる手段に依り鹽浴の連續使用を可能ならしむる目的を以て連續使用の結果變質せる鋼熱處理用熔融鹽浴に固形炭素質物を添加又は添加せずして還元性瓦斯及含鹽素瓦斯を微細なる氣泡上にて作用せしめ鹽浴中に懸在する不純物を共融性鹽化物に變化し熔融狀態の儘鹽浴の性能を更新せしむる事を特徴とする鋼熱處理用鹽浴の再生方法。

齒牙用合金 (10年特許公告第4252號、公告10-10-9、亞米利加合衆國、ベーカー、エレドコンパニー、インコーポレーテッド) 化學抵抗力大にして融點低く適當なる強度及硬度を備へ外觀白金の如き光澤を具有し研磨すれば鏡の如くなり而も之を永く持續し得且つ口腔組織に影響を及ぼさず衛生的にして比較的廉なる齒牙用合金を提供する目的を以て、 Au 10~20%、 Pd 20~30%、 Ag 40~50%、 Cu 11~18% 及 Zn 1~4% を含有せる合金。

切削工具製造法 (10年特許公告第4255號、公告10-10-9、茨城縣、鈴木平七) 原發明に於て刃先片として特殊鋼を使用したるを更に非鐵金屬合成硬質物に擴張し從來斯種の非鐵金屬合成物を使用する附刃工具に比して刃の附着強固にして強度の切削に耐ふる工具を容易に製出せんとする目的を以て、鋼製の支持體とタングステン、カーバイト其の他の非鐵金屬合成硬質物より成る刃先片とを接合するに當り支持體と刃先片との間に純度高き鐵片を介裝して全體を熔融せざる程度に加熱狀態の儘壓搾を加へて一體に融着せしむることを特徴とする切削工具製造法。

Mg 又は其合金の防蝕法 (10年特許公告第4259號、公告10-10-9、東京市、古河電氣工業株式會社) 斯る金屬に對する塗粧の効果を大ならしめんとする目的を以て、セレン防蝕被膜を施せる Mg 又は其合金を塗粧前斯る金屬又は合金に作用して其表面に化合物の被膜を形成せしむべき物質の溶液中に浸漬し次に之を塗粧することを特徴とする Mg 又は其合金の防蝕法。

電弧熔接裝置 (10年特許公告第4268號、公告10-10-9、北米合衆國、ウエスチング、ハウス、エレクトリック、エンド、マヌファクチュアリング、コムパニー) 簡易適切な構成によりて高周波振動發生裝置を連續的に動作せしむることなく熔接用電弧の設定に従つて高周波振動發生裝置の動作を自動的に開始せしむると共に電弧の望まれざる中斷に際して電弧の再設定を容易ならしめたる電弧熔接裝置を得る目的を以て、熔接用電極に熔接電流を供給すべくせる回路熔接用電弧を安定ならしむべく高周波電流を之に供給すべく熔接回路に接続せられたる高周波振動發生裝置、該高周波振動發生

裝置を交流電源に接続すべくせる回路裝置、上記交流電源と高周波振動發生裝置との間に挿設せられ熔接電流が流るゝ時それに起因して自動的にイムピーダンス値を輕減して高周波振動發生裝置を動作せしめ熔接電流が中斷したる後或る時間だけ高周波振動發生裝置の動作を持續せしむべくせる可變イムピーダンス裝置を備ふる電弧熔接裝置。

強靱にして特に延伸率大なる低腐蝕性 Al 合金 (10年特許公告第4297號、公告10-10-11、東京市、三宅誠意) 抗張力並に延伸率大なると共に低腐蝕性にして比重少き耐熱性の Al 合金を得んとする目的を以て、 Mg 2~8%、 Si 0.03~13%、 Cr 0.01~3%、 Ti 0.01~3%、 Mn 0.01~3%、 Fe 0.2~1.5% を含有し殘餘 Al を含有せる強靱にして特に延伸率大なる低腐蝕性 Al 合金。

Mg 及其合金の精製方法及廢物より Mg を回収する方法 (10年特許公告第4313號、公告10-10-14、朝鮮、日本マグネシウム金屬株式會社) 簡單且收率よく純粹なる Mg を得んとする目的を以て、精製すべき物質に重合金屬を例へばハロゲン化物或は硫化物の如き鹽類の形に於て Mg のハロゲン化物を添加或は添加せずして添加し此の際の其陽イオンが熔融物質と合金を形成せざるか或は僅かに形成するが如き重合金屬鹽類或は其陽イオンが其性質を害することなくして熔融金屬と合金を形成するが如き鹽類を選択する事を特徴とする鹽類と共に熔融することに依り Mg 及其合金を積製する方法及廢物より Mg を回収する方法。

耐火煉瓦表面保護塗料の製造方法 (10年特許公告第4323號、公告10-10-14、佐世保市、徳永優次郎) 此塗料を爐内耐火煉瓦表面に塗布乾燥し爐作業の際の高熱により塗料を分解作用せしめ自ら耐蝕耐滲透性の皮膜と化し以て耐火煉瓦表面の龜裂發生を防止し耐火煉瓦の生命を延長すると共に爐の熱經濟を來きしめんとする目的を以て、ポーキサイトの如き高礬土質に酸性白土の適量を配合せしめたる原料に螢石 1~20% 又は石灰 1~20% と炭酸カリウム 0.5~20% を含有せしめ混和泥狀とすることにより成る耐火煉瓦表面保護塗料の製造方法。

陶磁器鍍金方法 (10年特許公告第4328號、公告10-10-14、岐阜縣、小島隆一) 下地鍍金膜を光澤ある鏡面狀とし之に施すべき鍍金は同色の Ni 、 Cr 又は銀等にて光澤を失せざる程度に於てなし下地鍍金膜の摩擦に耐へ得ざるを補ひ其使用を耐久ならしめ廉價にして美しき製品を簡単に得んとする目的を以て、鹽化銀をアンモニア水に溶解し之を硫化バルサム中に混ぜしめたるものに樹脂酸鉛と樹脂酸白金とを加合して成る混合液を陶磁器面に塗着又は之にて描畫して 500~600°C の窯燒をなし下地鍍金膜を構成し之を電槽中に於て Ni 、 Cr 又は銀の電氣鍍金を施す陶磁器鍍金方法。

緊締組立鑄の改良 (10年特許公告第4340號、公告10-10-14、兵庫、藤村龜之進) 二芯軸よりなる杵杆の二側面に於て葉鈹を握持すべくせる爲その結合を確實ならしめ且芯軸に對し葉鈹の傾斜方向を變更せしめたる場合に於ても前と同様の確實度を以て結合し得べからしめんとする目的を以て、葉鈹打抜孔内に筋違位置に舌狀張出部を設け杵杆は L 字形断面の二芯軸抱合せよりなり各芯軸の隆縁と他芯軸の底邊端との間に前記舌狀部を挾握せしむる如くし一芯軸を他芯軸に對し長き方向に摺動する際相互に近接若くは離隔せしむる如くなしたる緊締組立鑄の改良。

中空チルド、ボール遠心力鑄造法 (10年特許公告第4353號、

公告 10-10-16、北海道札幌市、中川新作) 極めて簡単に表面をチルドして硬化し且つ容易に正球體に仕上し得る均質の中空ボールを生ぜしむる目的を以て、熔融鐵を金屬製球狀鑄型に注入し熔融鐵注入路を閉塞し軸を中心として急速に廻轉せしめつゝ凝固せしめ表面をチルドすると同時に内部に中空部を生ぜしむることを特徴とする中空チルド、ボール遠心力鑄造法。

工具用高硬度強靱合金 (10 年特許公告第 4373 號、公告 10-10-16、兵庫縣神戸市、株式會社神戸製鋼所) 硬度並に靱性の大なる工具用合金を得んとする目的を以て、炭化タングステン 76~93%、Co 6~20%、Th 及び Cs の鹽化物を夫々 0.3~2% 添加配合して成る高硬度強靱合金。

Ag 及び Ni を含有する青化加里溶液の處理法 (10 年特許公告第 4405 號、公告 10-10-18、大阪市、近藤權一) 簡單且經濟的に溶液中より Ag、Ni 及青化加里を完全に分離し Ag 及 Ni を回収せんとする目的を以て、Ag 及 Ni を含有する青化加里溶液に硫化アルカリ及中性若くはアルカリ性の Ni 化合物を添加することにより溶液中の Ag、Ni、青化加里を硫化銀、青化ニッケルとして沈澱分離せしめ該沈澱は焙燒後硝酸等を以て溶液となし Ag を分離回収し更に一部分より Ni を回収し殘餘は中性若くはアルカリ性溶液となし再び硫化アルカリと共に青化加里溶液の處理に使用することを特徴とする Ag 及 Ni を含有する青化加里溶液の處理法。

硫酸亞鉛、鹽化亞鉛、リトボーン及亞鉛の電氣製煉の際に生ずる精製率より金屬 Cd 回收法 (10 年特許公告第 4406 號、公告 10-10-18、東京市、三井鐵山株式會社) 極めて簡單なる操作により純度高き金屬 Cd を回収する目的を以て、従來法にて得たる海綿狀 Cd 中の不純物として含有する少量の金屬亞鉛分を除去するの目的を以て硫酸 Cd 溶液に依り處理して後乾燥し鹽化アンモニアと混合熔融して金屬 Cd を得る方法。

熔銑爐 (10 年特許公告第 4412 號、公告 10-10-21、東京市、長谷部岩藏他一名) 中央爐に於て鐵屑(鑄物屑)及砂鐵を熔解しつゝ其の焔熱を利用して中央爐を外側左右に連結したる特殊爐内に收容せる鐵屑(鑄物屑)及砂鐵を灼熱熔解せしめ以て熱の損失を輕減し熔解中鐵分の逸散を防止し最も經濟的效果を得んとする目的を以て、普通の圓筒形熔解爐(A)の外側左右に特殊爐(B)(C)を連結し各特殊爐(B)(C)は其中央に上部より鐵屑砂鐵等の充填用圓筒(1)(1')を垂直に裝設し該圓筒(1)(1')を底部(2)に圓孔(3)を設け該底部の下方より爐(B)(C)の下部に達する袋狀の隔壁(6)を圓孔(5)の周邊に連結し爐(B)の下部(4)と前溜爐(7)(7')の上部とに漏斗形通筒(8)(8')を連結し該前溜爐(7)(7')は中央爐(A)に於て焔熱入口(15)(16)(15')(16')を設け中央爐(A)の上部に原料容器を裝置したる熔銑爐。

釘先端部形成裝置 (10 年特許公告第 4434 號、公告 10-10-21、島根縣、高橋恭亮) 該凹溝の形狀に適合したる凸形部を先端としたる型桿を凹溝と同數に配置し材料線の周圍より同時に之を進めて該材料線を壓迫し各凸形部充端の相接觸したるとき凹溝と刃部とを形成し同時に材料を切斷せしむるものにして且此の際凸形部の壓迫により刃部の外側方に伸張して幅徑の増大するを防ぐの裝置を加へたるもの、釘の先端に設けんとする三角狀の凹溝に適合したる凸形の先端を有する數個の型桿と其相互の中間に於て材料線の外周を支持すべき壓抵桿とを各其先端部中心線が材料線の中心軸に一致して進退自在なる如く機枠に裝置し且つ材料線の進入路に當り 2 個の保持盤の合着部的一端に於て漏斗形の各半部をなせる溝狀刃部を設けた

る釘先端部形成裝置。

至硬合金製造方法 (10 年特許公告第 4440 號、公告 10-10-21、大阪、小西貫一) 可及的に少量の結合用金屬にて比較的均質に至硬物質の表面を被覆せしめたる後任意形狀を容易に賦與し得られて後段の燒結を均等ならしめて強靱なる工具及岩石穿孔用として密實にして至硬性と強靱性とを具備する硬合金を得んとする目的を以て、タングステン、カーバイトの如き難融至硬物質の微粒子の一種又は數種に其結合用金屬(メタルバインダー)の(カルボニール)を瓦斯狀態に於て接觸分解せしめ前記微粒子の表面を其結合用金屬(メタルバインダー)を以て被覆せしめ斯くて得たる微粒子を其儘壓搾形成後燒成せしむる至硬合金製造方法。

壓縮瓦斯容器の同生方法 (10 年特許公告第 4441 號、公告 10-10-21、東京市、太田啓三郎) 既に材質の疲勞を來し廢棄となりたる壓縮瓦斯容器を同生せしめ尙該法令に依る水壓壓潰遠心等の諸試験に合格する様爲し以て廢棄容器を再び經濟的に實用價值を生ぜしむると共に新品に對しても安全率及最大限の耐久力を賦與せしめんとする目的を以て、壓縮瓦斯容器に適當の燒入燒戻の熱處理を施し鋼の組織をパーライトよりソルバイト組織に變ぜしむることを特徴とする壓縮瓦斯容器の再生方法。

滿俺鐵鍍利用の肥料製造方法 (10 年特許公告第 4473 號、公告 10-10-23、神奈川、日本鋼管株式會社) 滿俺鐵鍍を利用し磷礦と硫酸との化學變化を急速完全ならしめ滿俺、膠狀珪酸を有効に加味せる磷酸質肥料を製し且つ製造操作を簡易經濟的ならしめんとする目的を以て、滿俺鐵鍍の際に副生する滿俺鐵鍍に磷礦を加へ之に加里酸(例へば鹽化加里、硫酸加里等)を添加し若しくは添加せざるものに硫酸の適量を混合し管に堆積化學變化を完了せしむることを特徴とする滿俺鐵鍍利用の肥料製造方法。

耐鹽素瓦斯合金鐵 (10 年特許公告第 4478 號、公告 10-10-23、大阪市、住友伸銅鋼管株式會社) 鹽素瓦斯によりて侵さるゝことなき合金鐵を得んとする目的を以て C 0.25% 以下、Si 0.1~3.0%、Mn 0.2~2.5%、Ni 9~5%、Cr 19~40%、Cu 0.05~4.5% 以下、S 0.1% 以下殘部鐵よりなることを特徴とする耐鹽素瓦斯合金鐵。

硬度高きアルミニウム輕合金 (10 年特許公告第 4513 號、公告 10-10-25、大阪市、住友伸銅鋼管株式會社) 硬度高きアルミニウム輕合金を得んとする目的を以て、Zn 5~25%、Li 3% 以下、Mg 5% 以下を含む硬度高き Al 輕合金。

管の製造裝置 (10 年特許公告第 4519 號、公告 10-10-28、獨逸國、フェルアイニヒテ、スタールウエルケ、アクチエレグゼルシャフト) 從來此種壓延機に於て遭遇したる種々の不利及困難を排除し一層有効に管を製造する裝置を得んとする目的を以て、中空素材の軸に對して傾斜して横たはり該中空素材の内外兩面に螺旋狀に展開せられ且各後續輾子は先行輾子に依りて既に半ば處理せられたる中空素材部分に更に作用すべく連續的に適當間隔を保ちて配置せられたる内側及外側輾子の複數對によりて主として軸方向に壓延することに依り中空素材より管を製造する裝置に於て管體は連續して行はるゝ前方運動及後方運動に相當する二個の作用部を有する輾子によりて兩方向に壓延せられ該輾子は往路に於て第一の作用部が作働したる後復路に於て第二の作用部が作働するに必要な位置に來る如き角度だけ移動せらるゝことを特徴とする管の製造裝置。

カルミウムシリサイド及黑鉛を製造する方法 (10 年特許公告第 4541 號、公告 10-10-28、東京市、樋口喜六) 簡單なる手段

に依り質優良なる鱗片状黒鉛結晶とカルシウム、シリサイドを生ぜしむる目的を以て、 CaC_2 にSiを加へ電氣爐中にて加熱し CaC_2 を分解してカルシウム、シリサイドを生ぜしめ同時にC分を鱗片状黒鉛結晶として遊離析出せしめ之を分別することを特徴とするカルシウム、シリサイド及黒鉛製造法。

瓦斯加熱装置用逆流安全装置 (10年特許公告第4618號、公告10-II-2、獨逸國、ロベルト、ボツシュ、アリチエンゲビルシャフト) 主發明に依る装置よりも一層安全なる逆流安全装置を得んとする目的を以て、逆流に際して後方に流るゝ廢瓦斯路中に廢瓦斯に依りて抑制せられその消滅に依りて主燃焼器に接続せられたる主瓦斯弁の閉鎖を行ふべき警戒焰が設けられたる瓦斯加熱器用安全装置に於て消火瓦斯を警戒焰に導くべき導管(44)が逆流する廢瓦斯を外方に導くべき逆流安全装置の廢瓦斯路に於て廢瓦斯の逆流に際して燃焼室より來れる酸素に乏しき廢瓦斯のみが收容せらるゝ如く設けられたる攝取位置に接続せられたる事を特徴とする瓦斯加熱器用安全装置。

特 許 抜 萃

特許 番號	名 稱	特 許 權 者	公告拔萃掲載 本誌番號
112093	硬合金の改良	金屬材料研究所長	第21年6號
112094	Si, Al, Fe, Znを含有する 壓延用銅合金	海 軍 大 臣	第21年6號
112098	細粒鑛又は小塊鑛の焙 燒用堅爐	山 崎 長 七	な し
112103	金屬芯入鉛鋳製造法	吉 川 浩	第21年2號
112135	團鑛の製造方法	日 置 雅 章	第21年5號
112138	蓄熱式鼓炭爐	ドクダ、シー、オットー、 アンド、カムパニー、ゲゼ ルシヤフト、ミッド、ベン ユレングテル、ハブリング	第21年6號
112145	砒鉍中のCu, Ni分離 法	小 室 靜 夫	第21年2號
112161	煉炭製造法	中 西 啓 祐	な し

112264	普通の黒心可鍛鑄鐵より 強力なる可鍛鑄鐵を 製造する方法	戸畑鑄物株式最社	第21年6號
112268	鑛石パルプより貴金屬 を回收する方法	ピースマン、エンド、カリ ックコムパニー	第21年7號
112180	硬質合金體製造方法	株式會社住友電線 製造所	第21年6號
112181	高導磁率合金製造法	古河電氣工業株式 會社	な し
112184	銅 合 金	古河電氣工業株式 會社	第21年6號
112186	不 銹 銀	金屬材料研究所長	第21年7號
112187	融 着 性 合 金	金屬材料研究所長	第21年7號
112220	鉛 合 金	東海鉛管株式會社	第21年6號
112270	裏打箔用銀箔製造法	三 浦 孫 二	な し
112271	裏打箔用銀箔製造法	三 浦 孫 二	な し
112322	鉛 鍍 金 法	東京鉛鋼株式會社	第19年9號
112323	鉛又は鉛合金の鍍金法	東京鉛鋼株式會社	第19年9號
112413	鎔 融 鉛 鍍 法	土 谷 頼 雄	第18年6號
112362	燒戻硬性Co真鍮	化學研究所長	第21年8號
112410	金屬微粒子製造法	江 澤 謙 二 郎	第21年8號
112367	輕合金上の酸化皮膜の 耐蝕性及絶縁性を増進 せしむる方法	遞 信 大 臣	第21年8號
112341	硫化粉鑛の團鑛製造方 法	日本鑛業株式會社	な し
112286	齒科用白色合金	池 下 辰 次 郎	第21年6號
112458	混 成 燃 料	アーサー、エイ、 ロバーツ	な し
112386	微細末金屬硫化物含有 材料より元素硫黃を回 收する方法	レイモンド、フオ ス、ベーコン	第21年1號
112471	金型用鑄鐵の收良	株式會社 神戶製鋼所	第21年6號
112499	銅及銅合金の處理法	株式會社 芝浦製作所	第21年7號